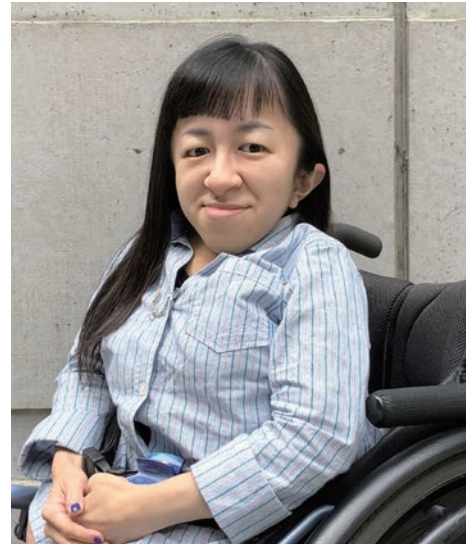


畠中 梨絵

Hatanaka Rie

肢体不自由



■ 経歴 & 活動内容

1987年、宮崎県生まれ。生後、骨が弱く骨折をしやすい「骨形成不全症」と診断され、骨折や手術を何度も繰り返して大人になる。同時に、難聴も進行。病気による影響で低身長のため「子ども扱い」されることが多く、常にコンプレックスを持っていたが「障害者ではなく、ひとりの大人」として向き合ってくれた人と出会い、生きやすさを感じる。これこそがまさに「ユニバーサルマナー」であると気付き、検定の講師を目指す。「障害の有無に関わらず、まずは“ひとりの人”として向き合うこと」を自身の経験を踏まえて伝える。

ユニバーサルマナー検定とは？

高齢者や障害者への適切なサポートやコミュニケーション方法を学ぶ検定です。全人口の内、28%が高齢者、7%が障害者という時代だからこそ、多様な方への向き合い方をマナーとして身に着けてほしい。そんな思いから生まれたのがユニバーサルマナー検定です。

3級カリキュラム

ユニバーサルマナーを初めて学び、一步を踏み出してみたい入門者向けの資格です。事前の勉強は必要なく、講義と演習問題に取り組むことで認定となります。

▼ 講義75分

- 「障害とは何か」「優しいおもてなしとは何か」など、基本的な知識から基礎となる考え方を通して、ユニバーサルマナーを身につけます。



▼ 演習問題45分

- グループワークで演習問題に取り組みます。お互いの意見を共有することで、より理解・認識が広がります。



合計2時間

受講者全員認定

2級カリキュラム

講義では3級よりもさらに広く実践的な知識を、実技研修では具体的なサポート方法を学びます。最後に試験を受け、70点以上の取得で認定となります。

▼ 講義70分

- 3級よりも、さらに広く実践的な知識を学びます。身体障害に加え、知的障害や精神障害についても理解を深めます。



▼ 実技研修150分

- 車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者への適切なサポートやお声がけの方法を、実践を通して学びます。



▼ 試験30分

- 25問の筆記試験を行います。
- 70点以上で2級認定となります。

合計5時間（休憩含む）

試験合格者のみ認定

*日本ユニバーサルマナー協会では「障害者」と表記しています。「障がい者」と表記すると、視覚障害者が利用するスクリーンリーダー（画面読み上げソフト）では「さわりがいしゃ」と読み上げられてしまう場合があるためです。当協会では、漢字表記のみにとらわれず、社会に存在する様々な「障害」と向き合っていきます。